

白川勝利で 四国から 野党連合政権の扉を開こう

日本共産党

衆議院比例四国・名簿登載予定

白川よう子



新しいのほい
ができます



4月9日、西予市で和気かずお市議予定候補とマスク姿で街頭演説。



12日、小豆島でペンションオーナーと懇談。団体予約がキャンセルになり経営が大変なか、「来てくれたのは共産だけ」と日曜版読者に。福本耕太土庄町議と橋の建設とともに運動している漁業者と漁業法の改悪について話し合い、安倍政権に立ち向かう党への共感が広がりました。

13日は、東かがわ市長、木村県森林組合長と懇談。「マスクを配るなら現金給付を」などの要望がありました。

また、白川さんの訴えで2人が入党を決意しました。

新型コロナウイルス感染者急増にともない、7都府県に出された緊急事態宣言。四国各地でも感染者が増え、外出自粛の要請が出され人の移動が急激に減っています。再開されたばかりの学校も再び休校になるなど、社会的影響は計り知れません。

これが半年続けば立ち行かなくなる。従業員を抱え、倒れるわけにはいかないという思いが切実です。

11日、愛媛県でも新居浜市議団が要望を聞く会を開催。小学校が、感染拡大地域を行き来する長距離トラック運転手の子どもさんに自宅待機を求め、三人が始業式と入学式を欠席する事態となり、いたたまれない気持ちです。

しかし、こうして問題を出し合い、あきらめずに国や行政に提案し続けてきた事が少しづつでも前に進みはじめました。国保料の減免や、傷病手当も実現の兆し。自治体独自で様々な取り組みも進み始めました。スピード感を持って誰一人取り残さない施策の実現に力を合わせます。

よう子記
